

2019年



## オーガニック検査技術講習会 開催要項

- 開催日程** : 農場向け検査員養成基礎コース (2019年8月27日~8月30日)  
加工場向け検査員養成基礎コース (2019年10月1日~10月4日)
- 開催場所** : 「早稲田奉仕園 セミナーハウス」(東京都新宿区)  
東京都新宿区西早稲田 2-3-1 TEL 03-3205-5411  
アクセス: 東京メトロ東西線 早稲田駅より(徒歩約5分)
- 対象** : 有機認証業務(検査、判定、認証機関コーディネート)に関わる方  
有機認証の取得を考えている方

### JOIA/IOIA の検査技術講習会の特徴

#### 1. 法の順守

日本では、2000年からJAS法のもとで有機認証制度が施行されています。  
認証制度の骨格を理解し、規格や基準を事例も交えながら学びます。

#### 2. オーガニック性保持のための検査

“オーガニック”の検査に求められるものは、チェックリストに従った点検だけではありません。異なる現場でも対応できる、オーガニックとしての管理点を学びます。

#### 3. 実務を前提とした演習の数々

講師はベテランの現役検査員が務めます。実際の検査で出会った事例や、申請者らの反応など、具体的な場面を紹介し、演習や模擬実習を通じて、実践に対応できる力をつけます。

この検査技術講習会のカリキュラムのベースは、米国に事務所を構え世界中の検査員で構成されるIOIA(国際オーガニック検査員協会)のトレーニングに準拠しています。IOIAは、検査技術の平準化、グローバルスタンダードを目指し、マニュアルの作成とトレーニングに取り組んでいます。この活動はIFOAM(国際有機農業運動連盟)や、米国を初めとする政府機関からも高い評価を得てきています。  
この講習会を修了すると、同時に、IOIAの講習を修了したことになります。

## ＜開催要項＞

### A 農場向け検査員養成基礎コース (農場コース)

日程 : 2019年8月27日(火) ~ 8月30日(金)

場所 : 「早稲田奉仕園 セミナーハウス」 (東京都新宿区)

費用 : ￥120,000 (一般)

(税込) ￥108,000 (JOIA サポート会員 (個人・法人))

\* 定員 18 名。開催人数 6 名に満たない場合は、開催を見送りますのでご了承ください。

講義で使用する基準 : 有機農産物の日本農林規格(JAS 規格)、認証の技術的基準 等

テキスト : オーガニック検査技術講習会テキスト

### 講義概要

\* 順番や時間は多少前後する可能性があります

Day 1	認証制度の基本を学ぶ	9:00~18:00
認証プロセスと検査員の役割 JAS 法と認証の技術的基準の説明 JAS 規格 農場検査の方法 書類審査の実施		有機 JAS 認証制度がどのような仕組みで成り立っているのか、そこでの検査員の役割を学びます。基準や規格の読み方を理解し、実際の検査の流れを把握するのが初日の目的です。書類審査では、3 日目の模擬実習で訪問する農場の規程等を用いて実際の検査業務を行います。
Day 2	検査の手法を学ぶ	9:00~18:00
オーガニック性を損なうリスクの確認 収穫後の管理方法と農場内で行う加工 農場検査における記録の確認 (トレーサビリティの確認)		ほとんどの認証機関では、検査員向けにチェックリストが用意され、適合性の評価をします。事前に準備すること、限られた時間の中で、現場で何を確認しなくてはならないかを判断するため、オーガニックの管理の重要なポイントの理解に努めます。
Day 3	模擬検査により現場を経験する	9:00~ 実習地から現地解散予定
報告書の書き方 模擬検査実習の内容確認・グループワーク 模擬検査実習		検査員の最終的な役割は、検査をした内容を報告することです。模擬で現場の検査を体験することで、机上で学んだことを実践し、報告書を完成させます。
Day 4	まとめ	9:00~16:00
模擬検査の情報確認: グループワーク 演習問題の復習、質疑応答 テスト		模擬実習に限らず、様々な演習が講義には組み込まれています。それらを繰り返す中で、「検査員の視点」を養います。習熟度の確認のためにテストがあります。

## B 加工場向け検査員養成基礎コース (加工コース)

日程 : 2019年10月1日(火)～10月4日(金)

場所 : 「早稲田奉仕園 セミナーハウス」 (東京都新宿区)

費用 : ￥120,000 (一般)

(税込) ￥108,000 (JOIA サポート会員(個人・法人))

\* 定員18名。開催人数6名に満たない場合は、開催を見送りますのでご了承ください。

講義で使用する基準 : 有機加工食品の日本農林規格(JAS規格)、認証の技術的基準 等

テキスト : オーガニック検査技術講習会テキスト

### 講義概要

\* 順番や時間は多少前後する可能性があります

Day 1	認証制度の基本を学ぶ	9:00～17:30
認証プロセスと検査員の役割 JAS法と認証の技術的基準の説明 JAS規格 加工場検査の方法 書類審査の実施	有機 JAS 認証制度がどのような仕組みで成り立っているのか、そこでの検査員の役割を学びます。基準や規格の読み方を理解し、実際の検査の流れを把握するのが初日の目的です。書類審査では、3日目の模擬実習で訪問する加工場の規程等を用いて実際の検査業務を行います。	
Day 2	検査の手法を学ぶ	9:00～17:00
原材料、添加物、助剤 (原材料の確認における注意) 食品工場における衛生管理 オーガニック加工場の防虫防鼠対策と検査表示やラベルの見方、JASの格付 食品工場における記録の確認(トレーサビリティの確認)	ほとんどの認証機関では、検査員向けにチェックリストが用意され、適合性の評価をします。事前に準備すること、限られた時間の中で、現場で何を確認しなくてはならないかを判断するため、オーガニックの管理の重要なポイントの理解に努めます。	
Day 3	模擬検査により現場を経験する	9:00～ 実習地から現地解散予定
報告書の書き方 模擬検査実習の内容確認・グループワーク 模擬検査実習	検査員の最終的な役割は、検査をした内容を報告することです。模擬で現場の検査を体験することで、机上で学んだことを実践し、報告書を完成させます。	
Day 4	まとめ	9:00～16:00
模擬検査の情報確認: グループワーク 演習問題の復習、質疑応答 テスト	模擬実習に限らず、様々な演習が講義には組み込まれています。それらを繰り返す中で、「検査員の視点」を養います。習熟度の確認のためにテストがあります。	

### 参加申し込みから終了証受け取りまでの流れ

1. 参加お申込み（添付の申込書を記入し、Email/FAX/郵送してください）
2. 講習会開催のお知らせ（開催催行人数が見込め次第、ご連絡します。遅くとも、開催予定の1ヶ月前に決定します。あわせて、請求書を送ります）
3. お振込み
4. テキスト受取
5. テキストを使つての予習（準備ワークシートの記載、Email/FAX で送付してください）
6. 講習会参加
7. 報告書の作成、送付（受講後、約1週間の間で）
8. 終了証（合格レベルで修了証、テスト提出・講義参加・報告書作成がすべてできれば、参加証）の受取。（講師による添削入りの報告書が返却されます）

### 注意事項（重要）

- ・ この講習会で取得する修了証は、検査員の資格証明とはなりません。
- ・ JAS 法において検査業務を行う場合には、各登録認証機関が定める資格要件を満たす必要があります。契約が決まっている場合、登録認証機関にあらかじめご確認ください。この講習会の修了証があることで、認証機関との契約に有利になる可能性はありますが、JOIA が受講者に検査員としての活動を保証するものではありません。受講にあたりこの点は十分にご了承下さい。
- ・ 講習会参加にあたり、ご自分の健康管理には十分に注意を払って下さい。

< 所在地 >

〒417-0801

静岡県富士市大淵 2858-13

TEL: 0545-32-8585

FAX 054-333-5432

E-MAIL: info@joia-organic.com URL: <http://joia-organic.com/>

< 沿革 >

1997年8月19日設立

2000年1月18日 NPO 法人日本オーガニック検査員協会とし、法人化

2014年4月より一般社団法人日本オーガニック検査員協会に組織変更

< 役員 >

代表理事：作吉むつ美      副代表理事：丸山 豊

監事      : 水野葉子

< 設立目的 >

- ・ オーガニック食品の認証普及により、社会的信頼性を高める。
- ・ オーガニック検査員の養成と教育に努める。
- ・ オーガニック検査員の質的向上及び社会的地位向上を図る。
- ・ 検査員の技術向上の為の研修、情報交換

< 活動内容 >

- ・ オーガニック検査員の養成
- ・ オーガニック検査員の技術向上に関連するセミナー等の開催
- ・ オーガニック関連の講習や講演(派遣含む)
- ・ オーガニック検査、認証に関する指導(派遣含む)
- ・ オーガニックへ関心のある方への勉強、情報提供
- ・ 国内外のオーガニック関連情報の提供
- ・ 日本におけるオーガニック検査員(国内及び国外検査員)の連携